

土木系学生7人招き
現場・合材工場見学会

三井住建道路

三井住建道路は11月30日、同社が施工する首都圏中央連絡自動車道狭山パーキングエリア補修工事（埼玉県狭山市）の施工現場と朝霞共同アスコン（同朝霞市）で職場見学会を開いた。写真。土木系学科の大学生や専門学校生7人が参加し、建設業の仕事に対する



理解を深めた。

施工現場の見学では、多々良哲弘所長から現場の

施工状況や建設重機の仕様などについて説明を受けた後、普段は触れる機会のない重機を間近にし、工事のスケールの大きさを体感。続く朝霞共同アスコンでは、加藤賢治工場長からアスファルト合材の製造過程や工場内のアスファルトプラント、リサイクルプラントについて説明を受け、操作室や試験室を見学した。

学生からは「実際に現場見学をすることで、学校の授業では分からない現場の流れや合材工場の製造工程を理解することができた」などの感想が上がり、道路建設業への関心を深めた様子だった。

同社工事本部の小谷茂樹工事一部長は「工事現場や合材工場といった職場を見学したことで道路会社を身近に感じ、興味を持ってくれたらうれしい」と話し、今後も見学会を継続開催する考えを示した。

舗装へ理解深める

三井住建道路、学生 7人招き職場見学会

三井住建道路は11月30日、埼玉県狭山市で同社が施工する関越自動車道所沢管内舗装補修工事内首都圏中央連絡自動車道狭山パーキングエリア補修工事現場と朝霞市の同社朝霞共同アスコンで、大学と専門学校土木系学科学生7人を招いた職場見学会を開いた。写真。

施工現場では、多々良哲弘所長から現場の施工状況や建設重機の仕様など細かな説明があり、学生は重機を間近に

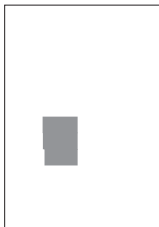
して現場についての理解を深めた。その後、朝霞共同アスコンでは加藤賢治工場長からアスファルト合材の製造過程のほか、工場内でのアスファルトプラントやリサイクルプ



ラントの説明があり、操作室や試験室を見学した。

見学後、学生からは「実際に現場を見学することで、学校の授業では分からない現場の流れや合材工場の製造工程を理解することができ、道路建設業界により深く関心を持った」などの感想が寄せられた。

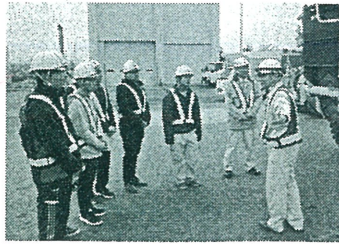
工事本部の小谷茂樹工事一部長は「工事現場や合材工場を見学したことで道路会社を身近に感じ、興味を持ってくれたらうれしい。今後も継続して開催したい」と語った。



土木系学生が現場・工場見学

道路建設業に対する理解深める

三井住建道路



三井住建道路は11月30日、土木系学科の学生7人を招き、同社で施工

する関越自動車道所沢管内舗装補修工事内の首都圏中央連絡自動車道狭山パーキングエリア補修工事（埼玉県狭山市）の施工現場と同社の朝霞共同アスコン（埼玉県朝霞市）で、現場・工場見学会を開催した。写真。

工事現場で、学生は多々良哲弘所長から現場

の施工状況や建設重機の仕様など細かな説明を受けた後、日常生活では触れる機会のない重機を間近にし、現場についての理解を深めた。その後、朝霞共同アスコンに移動し、加藤賢治工場長からアスファルト合材の製造過程や工場内のアスファルトプラントやリサイクルプラントの説明を受けた後、操作室や試験室を見学した。

見学後、学生からは、「実際に現場見学をすることで、学校の授業では

わからない現場の流れや合材工場の製造工程を理解することができ、道路建設業界により深く関心を持った」などの感想が寄せられた。

同社工事本部の小谷茂樹工事一部長は、「工事現場や合材工場といった職場を見学したことで、道路会社を身近に感じ、興味を持ってくれたらうれしい」とメッセージを送った後、「今後も継続して開催したい」と語った。